



防災おうめ

掲示板用

新生活が始まる機会に家具転対策を見直そう

もうすぐ、就職・転勤・入学など、新しい生活が始まる季節です。新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす時間が増加している昨今、家具などを動かす引っ越しや模様替え、テレワーク環境の整備のタイミングに、家具類の転倒・落下・移動防止対策（以下「家具転対策」という。）を見直しましょう。

◀家具類の転倒・落下・移動がもたらす「3つの危険」▶

大きな地震が発生すると、部屋の中では「**3つの危険**」が発生するのを知っていますか？

1 「けが」の危険

大きな地震が発生すると、家具などが倒れて下敷きになったり、上から落ちてきたものがぶつかったり、割れた食器やガラスの破片を踏んだりして、けがをすることがあります。

近年、日本で発生した大きな地震でけがをした人のうち、約30%～50%が、家具類の転倒・落下・移動が原因によるものでした。



2 「火災」の危険

過去に発生した大きな地震では、家具類の転倒・落下・移動によって火災が発生した事例がありました。

地震で家具類の収容物（本棚の本など）が落下したり、家具が倒れたりすることで、ストーブの電源スイッチが押され、近くにあった燃えやすいものに火が付き火災が発生することがあります。



3 「避難障害」の危険

出入口付近に家具転対策を実施していない家具を配置してしまうと、地震により転倒するなどした家具が扉や窓を塞ぎ、逃げられなくなる（避難障害）があります。

安全・確実に避難するためには、出入口付近や避難経路に家具を置かないことや、家具を置く向きを工夫するなど、レイアウトを考えることが非常に大切です。



新型コロナウイルス感染防止を徹底しましょう！！

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



青梅消防少年団では、新入団員を募集しています。消防少年団に入団して一緒に防災意識を高めましょう！！



家具転対策については、東京消防庁ホームページに掲載中の「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」をご覧ください。家具転対策ホームページでは、家具転ハンドブック以外にも、家具転啓発プロモーションビデオや、過去の地震の調査資料なども公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。



家具類の転倒・落下・移動防止対策
ハンドブック



家具転対策ホームページ

防火・防災に関するお問合せ

- | | | |
|---------|----------------|---------------|
| 青梅消防署 | 青梅市師岡町3-2-5 | ☎0428-22-0119 |
| 日向和田出張所 | 青梅市日向和田2-309-1 | ☎0428-24-0119 |
| 長淵出張所 | 青梅市長淵3-203-3 | ☎0428-21-0119 |